

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

「ふるさと大好き、高根っ子」

～地域のよさを知り、地域とともに生きる力を育む～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

高根小校区は、戦後、開拓が行われ、豊川用水の開通によって、キャベツや白菜などの畑作農業が盛んに行われるようになり、現在も花穂やスイカや稲作など、農業がこの地域の主産業となっている。

本校は、南側に太平洋を臨み、これまでも西七根海岸との関わりをもって学習活動や特別活動を行ってきた。昭和52年には、地域がもつ特色を生かした活動として地元の協力をいただき、全校児童が参加する「地引き網」の行事をスタートし、現在まで継続している。また、地引き網体験の活動場所となる海岸の清掃活動や津波避難訓練活動も併せて行っている。

平成7年には、児童が西七根海岸に産卵に来るアカウミガメについて愛着をもち、産卵に適した環境の保全とより身近な生き物として意識を高めるためにアカウミガメの学名「カレッタ」をスクールマスコットの名前に制定し、マークや着ぐるみを作成した。それらは、現在まで引き継がれ、いろいろな行事や活動に高根小のキャラクターとして活躍している。

平成16年に住宅分譲地「むつみね台」ができ、減少しつつあった児童数が増加傾向に転じた。それに伴い、地域のよさや地元に関わる歴史や慣習などを知らない保護者や児童が増えている。学校として、地域の方々の協力をお願いし、ふるさと高根の実態を知り、環境保護について学び実践する持続可能な開発のための学習（ESD）を通して自己のアイデンティティの確立を目指してゆく。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDへの取り組みとして、アカウミガメの環境保護活動を入り口とし、地域の方々とのつながりを大切にしてきた。また、高根校区の人々が営んでいる産業や地域の風土や文化を地域の方々から学び知ること、自分たちの住んでいる高根に愛着をもち、守っていく意識を高めていきたいと考える。

そのために本校では、以下の四つの活動で次のような目標を掲げる。

- (1) 西七根海岸の環境保全に関する学習
 - ・4年生総合的な学習「アカウミガメの学習」
 - ・出前授業や専門家を講師に招き、アカウミガメの産卵環境を保全していくための知識を得ることと周囲へのアピールを行う。
- (2) 西七根の海岸の環境保全活動と定期的なリサイクル運動を地域へ発信する活動
 - ・全校児童、PTAとともに「西七根海岸のクリーン作戦」を行う。

- ・PTAが主体となって行う年間2回の資源回収とは別にペットボトルキャップの回収を全校体制で行い、資源のリサイクル意識の向上につなげる。
- (3) 地引き網の会と海岸からの避難訓練
 - ・「西七根海岸のクリーン作戦」と同時に「地引き網の会」を行西七根海岸からスタートする津波発生時の避難訓練を行う。
- (4) お世話になっている地域の方々に感謝する会
 - ・学校で行われている教育活動に協力や支援をしていただいている地域の方々や保護者に対して感謝の気持ちを表す会を2月上旬に行う。感謝の手紙を全校で書き、手作りのプレゼントを渡し、その年に5年生が収穫した餅米で餅をつき、2年生が育てたトウモロコシをポップコーンにしてもてなす。
- (5) 行事などに関連づけた活動
 - ・児童、教職員、保護者、地域住民が一体となって活動したり、成果を発表する機会をもったりすることで地域への愛着心を育み、人との関わりやつながりを重視していく姿勢を養う。

Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

本校では、前述の目的のとおりESDへの取り組みを地域の環境を守るということ、地域への愛着を深め、地域とのつながりを大切にしていけることを中心に学習を進めていく。それらの学習を深めていくことで、地域の発展と環境の関連性、人とのつながりや社会の一員としての価値観を見出し、共有する基礎的な能力を養うことができると考えている。そして、それが持続可能な社会づくりの担い手を育てる教育になると考えている。

高根小学校は、むつみね台という新しい住宅分譲地ができ、児童数が増加してきている。新しく校区に入ってきた方々と昔から高根に住んでいる方々とともにさまざまな学習や活動を行うことで、子どもたちがすすんで「ふるさと高根」を知ろうとし、愛着をもつことができれば、他人との関係性や社会との関係性を理解し、協調して共生しようとする子どもを育てることができると考えた。

各学年で目標を達成するために、総合的な学習の時間や生活科などで地域学習と行事とを関連づけて活動を進めていく。そのための実践計画として、ESDアクティビティプログラムを作成して実践を進める。

- (1) 総合的な学習4年「アカウミガメを守れ、大作戦」(西七根海岸の環境保全)
- (2) 全校活動「西七根海岸530運動」と「リサイクル活動」
- (3) 全校活動「地引き網の会」と防災活動「津波発生時の海岸からの避難訓練」
- (4) お世話になっている地域の方々に感謝する会
- (5) 行事などに関連づけた活動
 - ・授業参観 ・自由参観 ・親子ふれあい活動 ・運動会 ・学芸会 ・校区市民館まつり
 - ・校内絵をかく会(神社、トラクター) ・クラブ ・読みかせボランティア
 - ・図書館ボランティア ・栽培活動(スイカ、サツマイモ、餅米など) ・農作業ボランティア
 - ・やきいも集会 ・マラソン大会 ・収穫祭

○活動を進めるためのESDアクティビティプログラム

教科領域	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合学習	●5年農作業ボランティア（米づくり）……………●収穫 ●4年アカウミガメを守れ、大作戦……………●発表 ●サツマイモ……………●いもほり										
特別活動	●全校リサイクル活動（ペットボトルキャップ）……………● ●西七根海岸530活動……………●530活動										
行事	●運動会 ●親子ふれあい活動 ●やさいも集会 ●学会 ●感謝の会・収穫祭 ●読み聞かせ（年間） ●津波避難訓練 ●校区市民館まつり ●地引き網の会 ●マラソン大会										
教科など	●絵をかく会（全校図工） ●スイカ（2年生活）……………●収穫 ●トウモロコシ（2年生活）……………●収穫 ●図書ボランティア（毎月1回お話の会）……………●										

(1) 総合的な学習「アカウミガメを守れ、大作戦」（4年）



「アカウミガメと表浜海岸の自然を守ろう」の出前講座



大須賀先生のアカウミガメの出前授業



生まれたてのアカウミガメの赤ちゃん

(2) 西七根海岸の530清掃活動



西七根海岸のクリーン作戦



アカウミガメのふ化場近くで

(3) 全校活動「地引き網の会」と防災活動「津波発生時の避難訓練」



地引き網の会



津波発生時に海岸からスタートする避難訓練

(4) お世話になっている地域の方々への感謝の会



カレッタくんとともに入場



感謝の会

(5) 学校行事



恒例の運動会種目「走れ！カレッタ」



やきいも集会

Type of materials to be used (使用する教材)

「小学校キャリア教育の手引き」

文部科学省 平成23年5月 (WEB版)

「夢を見つけ夢をかなえる航海ノート」

愛知県教育委員会 (WEB版)

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

指導教師は、ふだんの生活の中でも児童の態度・姿勢を観察し、プロジェクトの後には振り返りカードへの記述によって評価する。

それとともに、以下のような評価方法をとる。

- ・ 児童のさまざまな活動への成果を、事後のまとめや感想などから把握する。
- ・ 学習や活動のまとめとしての授業公開や絵をかく会作品展、行事（運動会、学芸会、収穫祭）などでの成果の発表や学年、学級、学校だよりとホームページによる地域への発信を通して、関心・意欲・態度などを観察し評価する。

上記の評価とともに、学校評議員を通じた地域からの評価や、行事・保護者会後のアンケート調査、年間1回の全保護者を対象としたアンケート調査から、ESDアクティビティプログラムの見直しを図り、地域とともに生きる高根っ子を育成するための活動内容を改善していく。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職)

Institution's name (学校名)